

運河で

生きる

～都市を支えた横浜の“河川運河”～

2025年
1月18日[土] — 4月13日[日]
横浜都市発展記念館
Museum of Yokohama Urban History

開館時間 午前9時30分～午後5時00分(券売は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日が休館)
観覧料 一般800円、市内65歳以上・小中学生400円



タイトル	作者・目録題(所載資料名)	年代	所蔵
189 ◇富津と横浜の間を就航していた定期船明治丸		昭和24(1949)年以降	藤平善樹
190 ◇乗客を乗せて航行する京浜丸		昭和30(1955)年以降	藤平善樹
191 ◇富津港で京浜丸に乗船する人びと		昭和30(1955)年以降	藤平善樹
192 ◇京浜丸	富津造船株式会社	昭和30(1955)年頃	藤平善樹
193 ◇「京浜丸改装一般配置図」	小瀬造船株式会社工務課	昭和34(1959)年10月19日	藤平善樹
194 ○藤平善次郎氏が使用していた鞆			藤平善樹
195 ○元町で購入した万年筆			藤平善樹
196 ○「美人屋敷の秘密」	『恐怖のヨコハマ』 学風書院	昭和31(1956)年	横浜開港資料館
197 ○「三浦半島の観光案内」	京浜急行	昭和35(1960)年秋	河北直治
198 ○「明治丸改造仕様書」	京浜汽船株式会社	昭和33(1958)年11月	藤平善樹
199 ○「見積書(京浜丸改装工事)」	小瀬造船株式会社	昭和34(1958)年10月25日	藤平善樹

②戦後復興を支えた製材業

200 ◇新山下の貯木場で遊ぶ子供たち	広瀬始親氏撮影・寄贈		横浜開港資料館
201 ◇新山下貯木場	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和31(1956)年	当館
202 ◇稚子川で遊ぶ子供たち	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和28(1953)年12月5日	横浜開港資料館
203 ◇稚子川に浮かぶ木材筏で遊ぶ子供たち	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和28(1953)年12月5日	横浜開港資料館
204 ◇派新田間川の角材の筏渡し	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和50(1975)年9月26日	当館
205 ○横浜市内の運河を利用した木材係留場	『横浜貯木場問題調査報告書』 横浜市立大学経済研究所	昭和35(1960)年1月	横浜市立大学学術情報センター

IV章 運河の衰退—輸送革新と都市計画事業—

1. 輸送革新

206 ◇コンテナ「シー・パン」の実演	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和37(1962)年	当館
207 ◇山下ふ頭	八木下恭美氏撮影	昭和44(1969)年2月	八木下恭美
208 ◇船の修繕	八木下恭美氏撮影	1960年代	八木下恭美
209 ◇廃棄された船	八木下恭美氏撮影	1960年代	八木下恭美

2. 都市計画事業

210 ◇堀川、西之橋付近より石川町方面をのぞむ	八木下恭美氏撮影	昭和39(1964)年以前	八木下恭美
211 ◇堀川、西之橋付近	八木下恭美氏撮影	昭和39(1964)年頃	八木下恭美
212 ◇絵葉書「横浜の地下鉄と高速道路」		昭和40(1965)年頃	当館
213 ◇「1号線大岡～伊勢佐木町間路線概略図」	『新しい市民の足 地下鉄』 横浜市交通局高速鉄道建設部	昭和42(1967)年	当館
214 ◇「派大岡川・吉田川利用計画図」	横浜市計画局	昭和41(1966)年4月	横浜市史資料室(鮫島茂家資料)
215 ◇「新田間川・幸川利用計画図」	横浜市計画局	昭和41(1966)年4月	横浜市史資料室(鮫島茂家資料)

エピソード 運河の復活—「せせらぎとの対話」—

216 ○『市民グラフィコハマ』22号	横浜市市民局市民活動部広報課広報センター	昭和52(1977)年7月	個人
217 ◇「(首都高速道路)事業概要図」	首都高速道路公団神奈川建設局	昭和54(1979)年	当館
218 ◇鹿島の溜まる派大岡川	神奈川大学工学部高木幹朗研究室撮影	1970年代	神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター
219 ◇埋め立ての進む派大岡川	神奈川大学工学部高木幹朗研究室撮影	1970年代	神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター
220 ◇埋め立ての進む派大岡川	神奈川大学工学部高木幹朗研究室撮影	1970年代	神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター
221 ◇中村川上の高速道路開発に反対する立て看板	神奈川大学工学部高木幹朗研究室撮影	1970年代	神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター
222 ◇中村川に浮かぶ船劇場		1980年代初頭(昭和59(1984)年以前)	横浜ボートシアター
223 ◇「若きアピマニユの死」公演時の船劇場		昭和61(1986)年	横浜ボートシアター
224 ◇大岡川プロムナード(港南区)	横浜市広報課	昭和60(1985)年7月	横浜市史資料室
225 ◇大岡川プロムナード	横浜市広報課	昭和61(1986)年4月	横浜市史資料室

*タイトルの前の○は原資料、◇はパネル展示。
*タイトルの前の※1は1月18日～2月14日、※2は2月15日～3月14日、※3は3月15日～4月13日に原資料を展示。

横浜都市発展記念館企画展「運河で生きる～都市を支えた横浜の“河川運河”～」展示資料目録
横浜都市発展記念館編 〒231-0021 横浜市中区日本大通12 電話：045(663)2424
展示会期：令和7年(2025)1月18日(土)～4月13日(日) 令和7年(2025)1月18日発行

運河で生きる

オンラインショップで販売中!
(QRコードからアクセスできます)

企画展図録「運河で生きる～都市を支えた横浜の”河川運河”～」
A4判 史料編を含む全80頁 オールカラー 2,000円(税込)

出陳資料一覧

	タイトル	作者・目録題（所載資料名）	年代	所蔵
プロローグ				
1	◇「横浜真景一覧図絵」	尾崎富五郎刊	明治24（1891）年	横浜開港資料館
2	○※1「横浜鉄橋之図」「横浜鉄橋其二」	五雲亭貞秀画	明治3（1870）年	横浜開港資料館
3	○※2「横浜吉田橋ヨリ馬車道之図」	歌川広重（3代）画	明治3（1870）年	横浜開港資料館
4	○※3「横浜吉田橋通繁昌之図并本町通弁天通外国館遠景」	歌川国輝（2代）画	明治3（1870）年10月	横浜開港資料館

1 章 運河の形成－横浜開港～関東大震災前夜－

1. 河川運河の形成

5	◇「増補再刻御開港横浜之全図」	橋本玉蘭斎（五雲亭貞秀）	万延元（1860）年	横浜開港資料館
6	○※1「再改横浜風景」	五雲亭貞秀画	文久元（1861）年2月	横浜開港資料館
7	○※1「神奈川横浜二十八景之内　野毛橋ヨリ吉田新田の長縄手ニつづき吉田橋西の詰ヨリ見かへり宮ヶ崎の鼻老婆岩并遠ク東海道筋ヲ見渡内浦を一覧の図」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
8	○※1「神奈川横浜二十八景之内　吉田新田ヨリ土手大木戸通り吉田橋詰迄を見渡弁天町土手下生淵沼を見る之図なり」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
9	○※2「神奈川野毛横浜」	歌川広重（2代）画	文久元（1861）年6月	横浜開港資料館
10	○※2「神奈川横浜二十八景之内　羽沢切通しヨリ天の間之方野毛村同浦野毛橋吉田新田を遠ク見込たる之図」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
11	○※2「神奈川横浜二十八景之内　此所ハ切通ヨリ南下り野毛村ニ出て新町家並を見込野毛浦野毛橋を渡り吉田新田の堤を見る図ナリ」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
12	○※3「神奈川蒸気車鉄道之全図」	歌川国輝（2代）画	明治3（1870）年2月	横浜開港資料館
13	○※3「神奈川横浜二十八景之内　戸部村并ニ其浦先石崎橋ヨリ東海道市場鶴見の方を遠景之図」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
14	○※3「神奈川横浜二十八景之内　吉田新田ヨリ土手大木戸通吉田橋東橋つめ迄を見渡弁天町土手下生淵沼を見る図なり」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
15	○※3「神奈川横浜二十八景之内　新田間橋ヨリナベヤ新田塩焼屋并神奈川かかゝるい沢其海岸を見る　此新田間橋ハ東海道大通り青木町芝生村其間ヨリ此道ニ出ルの図ナリ」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
16	○※3「神奈川横浜二十八景之内　東海道神奈川台并かかゝるい沢ヨリ横浜海岸町同本町横浜本村を見渡其海面数万の大船を見る図ナリ」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
17	○※3「神奈川横浜二十八景之内　此所ハ十二天ノ社同山ニ登り海洋を見渡向東ノ方の上総かのふ山并木更津の方迄一ト眼に見ル之景色ナリ」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
18	○※3「神奈川横浜二十八景之内　西の方波戸場ヨリ真直の通りハ港崎町ふもん坂ニ出るを見るナリ并海岸町御船蔵本町五丁目大通り商家の有様を見渡すに至る」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
19	○※3「神奈川横浜二十八景之内　東波止場へ買取る荷物を小船に積入本船にうつす之有様なり西波止場は江戸ヨリ積おくるの荷物を水揚の所にて此東は運上屋より下りたるをつみ入る場所ナリ」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年5月	横浜開港資料館
20	○※3「神奈川横浜二十八景之内　海岸町一丁目船場ハ神奈川洲崎明神前ヨリ此所へ渡　木戸の内ヨリ本町一丁目なり　うしろに弁天山の松林迄を見込ノ図なり」	五雲亭貞秀画	万延元（1860）年4月	横浜開港資料館
21	◇「新構横浜全図随時改刻」	五葉舍万寿老人（尾崎富五郎）製図	明治3（1870）年11月	横浜開港資料館
22	◇「横浜弍覧之真景」	橋本玉蘭斎（五雲亭貞秀）	明治4（1871）年11月	横浜開港資料館
23	◇「改正横浜市全図」	鈴木陌三郎編	明治31（1898）年	横浜開港資料館
24	◇「拡幅工事中の堀川」	『The Far East』	1871年6月1日号	横浜開港資料館
25	◇「拡幅工事後の堀川」	『The Far East』	1873年7月1日号	横浜開港資料館
26	◇「開削工事中の堀割川」	『The Far East』	1872年4月1日号	横浜開港資料館
27	◇「明治二十九年市街地拡張之図」「明治三年吉田新田ノ状況」	『横浜堀割理立由来』　大原邦三郎編	明治30（1897）年	横浜開港資料館

2. 河岸と市場

28	◇「横浜関内町名」（部分）		明治4（1871）年8月改	横浜開港資料館
29	◇「元町天照皇大神宮前の河岸」	『The Far East』	1873年7月1日号	横浜開港資料館
30	◇絵葉書「横浜柳橋川岸」		明治末～大正初期	横浜開港資料館
31	◇絵葉書「横浜港町川岸」		明治期	横浜開港資料館
32	◇絵葉書「横浜市役所及附近市街」		大正期	当館
33	◇絵葉書「横浜元町河岸の景」		明治期	横浜開港資料館
34	◇市場	「改正横浜市全図」（部分）　鈴木陌三郎編	明治31（1898）年	横浜開港資料館
35	◇市場	『横浜繁昌記　附・神奈川県紳士録』　横浜新報社著作部編	明治36（1903）年	横浜開港資料館
36	◇「内外蔬菜東京横浜輸出記録」		明治10（1877）年5月	横浜開港資料館（佐久間亮一家文書）
37	◇「三河屋堀田忠次郎」	「横浜諸会社諸商店之図」		横浜開港資料館
38	◇「三忠合名会社」	『横浜社会辞彙』　日比野重郎	大正6（1917）年	横浜開港資料館

3. 運河で荷物を運ぶ人びと

39	◇「大利回漕店引札」		明治期	物流博物館
40	◇「横須賀通出船所」	「改正横浜市全図」（部分）　鈴木陌三郎編	明治31（1898）年	横浜開港資料館
41	◇「公有水面使用願に関する件」	横浜水上警察署長地方警視渡邊時蔵	昭和2（1927）年3月1日	神奈川県立公文書館

山本繁次郎の活躍

42	○『無我翁と雷公』	長尾大学編	昭和15（1940）年	個人
43	○徳富蘇峰宛「山本繁次郎翁伝記刊行会」書簡	編集所仏光閣・事務所山本商店	昭和15（1940）年	徳富蘇峰記念館
44	◇山本繁次郎・富士子夫妻	『無我翁と雷公』　長尾大学編	昭和15（1940）年	個人
45	◇横浜市元町川岸の山本繁次郎商店	『無我翁と雷公』　長尾大学編	昭和15（1940）年	個人
46	◇山本商店	『大日本職業別明細図横浜市中区』（部分）　東京交通社	昭和11（1936）年	横浜開港資料館
47	◇山本商店（鈴繁）の印半纏と手拭（表・裏）	『無我翁と雷公』　長尾大学編	昭和15（1940）年	個人

	タイトル	作者・目録題（所載資料名）	年代	所蔵
III章 運河の活躍－戦争・接収・復興期－				
1. 戦争と運河				
135	◇「横浜市街図」	日本地図株式会社	昭和21（1946）年	当館
136	○ノート（航海図目録）	藤平善次郎	昭和19（1944）年11月29日	藤平善樹
137	○「蓬萊丸航海図目録」	藤平善次郎	昭和20（1945）年2月8日	藤平善樹
138	○「だるま船」	紙芝居刊行会製作	昭和20（1945）年4月	当館
139	○名刺（神奈川県木材株式会社特殊材部造船材課飯村吉之助）			当館
140	○「軍需造船供木運動」	『週報』331号	昭和18（1943）年2月17日	個人

2. 接収と運河

①焼け跡のなかで

141	◇錦橋付近の「風太郎」	奥村泰宏氏撮影・栗林阿裕子氏寄贈	昭和24（1949）年	当館
142	◇野毛の横丁	奥村泰宏氏撮影・栗林阿裕子氏寄贈	昭和24（1949）年	当館
143	○「市街地の接収（その一）　横浜の心臓部」	『横浜の接収と財政』　横浜市	昭和28（1953）年	横浜市中央図書館
144	○『忘備日記　劣人日記』No.4	小黑英夫	昭和21（1946）年4月23日	横浜市史料書室
145	○『忘備日記　劣人日記』No.4	小黑英夫	昭和21（1946）年5月2日	横浜市史料書室
146	○「目撃者の証言」	青銅社	昭和27（1952）年	個人
147	◇派大岡川、船の上での生活	奥村泰宏氏撮影・栗林阿裕子氏寄贈		当館
148	◇派大岡川、柳橋付近	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和28（1953）年	当館
149	◇大江橋付近の水上ホテル	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和29（1954）年7月25日	横浜開港資料館
150	◇慈恵会の水上ホテル	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和30（1955）年4月23日	横浜開港資料館
151	◇沈没した水上ホテル	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和29（1954）年5月15日	横浜開港資料館
152	◇沈没した水上ホテル	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和29（1954）年5月15日	横浜開港資料館
153	○「横浜港荷役作業における労働機構の素描」	神奈川労働基準局給与課編	昭和26（1951）年	個人
154	○民間水上ホテルの所在	『ドヤ街の発生と形成－横浜埋地（西部の街）について－』　芹沢勇	昭和42（1967）年3月	横浜市立大学学術情報センター
155	○◇「横浜文学」5号	横浜文化集団	昭和28（1953）年8月	横浜開港資料館
156	○◇「横浜文学」10号	横浜文学集団	昭和29（1954）年1月	横浜開港資料館

②解の活躍

157	◇台風で派大岡川に避難する解	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和29（1954）年9月13日	当館
158	○東横橋駅付近での荷役作業	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和35（1960）年5月6日	横浜開港資料館
159	○解の操舵	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和35（1960）年5月6日	横浜開港資料館
160	◇曳帆されて堀川をすすむ解	八木下恭美氏撮影	1960年代	八木下恭美
161	◇大岡川河口に係留した解で炊事をする女性	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和35（1960）年5月6日	横浜開港資料館
162	◇解の母子	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和32（1957）年	当館
163	○歩み板で解に渡る子供	広瀬始親氏撮影・寄贈	昭和30（1955）年4月8日	横浜開港資料館
164	○高島ふ頭で荷役を待つ解	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和37（1962）年	当館
165	○『日本水上学園要覧』		1960年代	社会福祉法人日本水上学園
166	○『創立十周年　児童文集』	学校法人日本水上学校	昭和27（1952）年7月20日	神奈川県立図書館
167	○『ともづな』第十七号	財団法人日本水上学園	昭和34（1959）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
168	○『ともづな』創立十八周年記念号	財団法人日本水上学園	昭和35（1960）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
169	○『ともづな』十九周年記念号	社会福祉法人日本水上学園	昭和36（1961）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
170	○『ともづな』二十周年記念号	社会福祉法人日本水上学園	昭和37（1962）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
171	○『ともづな』創立21周年記念号	社会福祉法人日本水上学園	昭和38年（1963）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
172	○『ともづな』64年号	社会福祉法人日本水上学園	昭和39年（1964）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
173	○『ともづな』二十四周年号	社会福祉法人日本水上学園	昭和41年（1966）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
174	○『ともづな』創立25周年号	社会福祉法人日本水上学園	昭和42年（1967）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
175	○『ともづな』創立26周年号	社会福祉法人日本水上学園	昭和43年（1968）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
176	○『ともづな』創立27周年記念号	社会福祉法人日本水上学園	昭和44年（1969）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
177	○『ともづな』創立28周年号	社会福祉法人日本水上学園・学校法人聖坂養護学校	昭和45年（1970）年7月20日	社会福祉法人日本水上学園
178	○『水上校報』第23号	東京都立水上小学校	昭和34（1959）年3月25日	東京都教職員研修センター
179	○『水上校報』第24号	東京都立水上小学校	昭和35（1960）年3月25日	東京都教職員研修センター
180	○『水上校報』第25号	東京都立水上小学校	昭和36（1961）年3月25日	東京都教職員研修センター

解荷役の道具

181	◇歩み板			港区立郷土歴史館
182	◇米俵のハイツク作業			物流博物館寄託
183	○バイスケ			横浜みなと博物館
184	○テカギ（ノッコ・2本爪）			横浜みなと博物館
185	○テカギ（長柄）			横浜みなと博物館

自走する解

186	◇薪を運ぶ自走式の解	五十嵐英壽氏撮影・寄贈	昭和37（1962）年	当館
187	○自走式解船大減丸の舷灯（銅製）		戦後	山本哲

3. 戦後復興を支えた運河

①明治丸の活躍

188	◇富津港に入港する明治丸		昭和24（1949）年以降	藤平善樹
-----	--------------	--	---------------	------

	タイトル	作者・目録題（所載資料名）	年代	所蔵
48	◇横浜市元町太神宮	『無我翁と雷公』 長尾大学編	昭和15（1940）年	個人
49	◇巖島神社の手水鉢		令和5（2023）年11月21日撮影	
50	◇鈴木要蔵の墓所	『無我翁と雷公』 長尾大学編	昭和15（1940）年	個人
51	◇天徳寺三界万霊塔		令和6（2024）年9月25日撮影	
52	○『開港横浜雑鑑』		明治元（1868）年	横浜開港資料館

4. 広がる物流網

53	○◇『新編横浜海陸運輸・荷馬車・人夫請負業便覧 全』	遠藤徳次郎	大正9（1920）年	横浜開港資料館
54	◇「横浜名所案内図絵・市街電車案内」		大正10（1921）年	当館
55	◇絵葉書「横浜電車橋ヨリ停車場」		明治末～大正期	当館
56	◇手荷物電車の車内	中野春之助氏撮影	大正12（1923）年8月	当館
57	○絵葉書「横浜吉田橋」		明治末～大正期	当館
58	○絵葉書「横浜公園と花園橋通」		大正期	当館
59	○「横浜電車・自動車交通図」	日本地理附図研究所発行	昭和5（1930）年	当館
60	○「横浜市案内図」	横浜市観光係	1941（昭和16）年	当館
61	◇関東大震災前の横浜市街地		大正12（1923）年	横浜開港資料館
62	◇工事中の東横浜駅の平面図（部分）	『停車場平面図』 中部鉄道管理局	大正7（1918）年12月	鉄道博物館
63	○「明治四十年代の横浜の運送」	荻輪晴康（『わだち』11巻10号 日本通運株式会社わだち編集部）	昭和23（1948）年10月	物流博物館
64	○「あの頃の通運はこうだった 明治三十五年以後のこと」	荻輪晴康（『荷役と機械』3巻7号 通運荷役研究所）	昭和27（1952）年7月	流通経済大学物流科学研究所
65	○「あの頃の通運はこうだった 明治三十五年以後のこと」	荻輪晴康（『荷役と機械』3巻10号 通運荷役研究所）	昭和27（1952）年10月	流通経済大学物流科学研究所
66	◇横浜商品倉庫倉庫部	『横浜商業会議所月報』第161号	明治43（1910）年3月	横浜開港資料館
67	◇横浜商品倉庫弁天橋出張所平面図	『横浜港施設要覧』 三井物産株式会社横浜支店輸出入掛	大正4（1915）年	横浜市中央図書館
68	◇横浜商品倉庫の基礎		平成28（2016）年	（公財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
69	○染付皿	洲千島遺跡出土遺物 日本陶器株式会社製		（公財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
70	○ティーソーサー	洲千島遺跡出土遺物 名古屋製陶所製		（公財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
71	○カニ缶ラベル	洲千島遺跡出土遺物		（公財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター

II章 運河の成長―～関東大震災前夜―

1. 運河の被災と復興

72	◇「横浜大地図・附大正十二年大震災火災区域」	岡崎保・安岡健四郎	大正12（1923）年	横浜開港資料館
73	◇派大岡川護岸			当館（佐藤殿旧蔵写真）
74	◇堀川護岸（工事前）			当館（佐藤殿旧蔵写真）
75	○『横浜復興誌 第二編』	横浜市役所編	昭和7（1932）年	横浜開港資料館
76	◇堀川（護岸工事完成後）			当館（佐藤殿旧蔵写真）
77	◇堀川（護岸工事完成後）			当館（佐藤殿旧蔵写真）
78	◇中村川（護岸工事完成後）		昭和3（1928）年頃	当館（佐藤殿旧蔵写真）
79	◇堀割川を千歳橋からのぞむ		昭和4（1929）年頃	当館（佐藤殿旧蔵写真）
80	◇派大岡川（護岸工事完成後）		昭和4（1929）年頃	当館（佐藤殿旧蔵写真）
81	◇派大岡川（護岸工事完成後）		昭和5（1930）年頃	当館（佐藤殿旧蔵写真）
82	◇派大岡川（護岸工事完成後）		昭和5（1930）年頃	当館（佐藤殿旧蔵写真）
83	◇新吉田川（護岸工事完成後）			当館（佐藤殿旧蔵写真）
84	○架け替えられた西之橋	『復興の横浜 区画整理 街路 橋梁 河川・護岸公園』 横浜市土木局		当館
85	○絵葉書「眼下に眺むる吉田橋と伊勢佐木町通り」		昭和戦前期	当館
86	○絵葉書「横浜吉田橋」		昭和戦前期	当館
87	○絵葉書「伊勢佐木町通り」		昭和戦前期	当館
88	○絵葉書「吉田橋より伊勢佐木町を望む」		昭和戦前期	当館
89	○絵葉書「伊勢佐木町通り」		昭和戦前期	当館
90	○絵葉書「松屋の美観」		昭和戦前期	当館
91	○絵葉書「横浜松屋の全景」		昭和戦前期	当館
92	○絵葉書「伊勢佐木町通り」		昭和戦前期	当館
93	○絵葉書「伊勢佐木町通り夜景」		昭和戦前期	当館
94	○「横浜 復興横浜案内」	横浜市	昭和4（1929）年	当館

2. つながる運河

①京浜をつなぐ運河網

95	○遭磨船泰晴丸模型（1/20）		昭和戦後期	船の科学館
96	○機関船模型			木更津市郷土博物館金のすず
97	◇「京浜海上連絡図」	『横浜市復興会誌』 横浜市復興会	昭和2（1927）年	当館
98	◇「横浜港平面図」	横浜市土木局	昭和10（1935）年	当館
99	◇「東京市内外河川分布図」	『東京市内外河川航通調査報告書』 東京市役所	大正12（1923）年	東京都立中央図書館

タイトル	作者・目録題（所載資料名）	年代	所蔵
100 ◇通信省塔上ヨリ東京市中展望ノ景其ノ七		明治43(1910)年	郵政博物館
101 ◇絵葉書「汐留駅の荷揚場と艇」		昭和初期	物流博物館
102 ◇「最新調査大東京川崎横浜復興大地図」（部分）	時事新報社	昭和5（1930）年	横浜開港資料館
103 ◇「各種船舶之図」	『東京市内外河川航通調査報告書』 東京市役所	大正12（1923）年	東京都立中央図書館
104 ○『横浜港調査委員会参考資料 第1輯 横浜港ニ於ケル運送艇舟』	横浜港調査委員会	大正12（1923）年	神奈川県立図書館
105 ○『昭和12年水上生活者調査』	横浜市社会課編	昭和13（1938）年	横浜開港資料館
106 ○『オフネノコドモたち』	正芽社	昭和16（1941）年	当館
107 ◇『濤西寮の説明』	横浜労働学校	昭和10（1935）年	横浜市中央図書館
108 ○『事業要覧神奈川県済会』	神奈川県済会編		横浜開港資料館
109 ◇『社団法人神奈川県済会季報 第1号』	神奈川県済会編	昭和4（1929）年	神奈川県立保健福祉大学 附属図書館済会文庫
110 ○『横浜港に於ける沖仲仕の調査 第1輯』	神奈川県済会施設沖仲仕休憩所編	大正14（1925）年	横浜開港資料館

②つながる横浜と房総半島

111 ○『横浜港ノ現勢』	横浜商業会議所編	昭和元（1926）年	横浜開港資料館
112 ◇「海光の千葉県」	吉田初三郎作・房総観光協会発行	昭和7（1932）年	横浜開港資料館
113 ◇絵葉書「蒸気河岸福沢丸と五大力船」		大正期	木更津市郷土博物館金のすず
114 ◇絵葉書「木更津の海中人力車」		明治・大正期	木更津市郷土博物館金のすず
115 ◇明治丸船長の藤平善次郎氏			藤平善樹
116 ◇定期船明治丸（複写）		大正12（1923）年5月	富津市教育委員会
117 ○「航路案内 東京湾汽船」	東京湾汽船株式会社発行	昭和15（1940）年	当館
118 ○昭和丸材料見積			木更津市郷土博物館金のすず

3. 都市化と河川運河

①工場

119 ◇絵葉書「横浜子安 日本フォード自動車株式会社」		昭和2（1927）年	当館
120 ◇「横浜市保土ヶ谷区鳥瞰図」	保土ヶ谷自治懇話会	昭和6（1931）年	横浜開港資料館
121 ◇「大日本職業別明細図 神奈川県 神奈川区・鶴見区・保土ヶ谷区」	東京交通社	昭和6（1931）年	神奈川県立図書館
122 ○横浜市内の造船業者	『横浜市商案内』 横浜市勸業課	昭和8（1933）年	横浜開港資料館
123 ◇「滝ノ川流水面占用願之件」	横浜水上警察署長地方警視新垣新六	昭和18（1943）年1月11日	神奈川県立公文書館
124 ◇「入札起案」	神奈川県	昭和9（1934）年12月20日	神奈川県立公文書館
125 ◇石碑「大綱大神刀比羅宮鎮座」		令和6（2024）年3月28日撮影	

②製材

126 ◇絵葉書「横浜市設貯木場」	横浜港木材倉庫株式会社		当館
127 ○『横浜港調査委員会参考資料 第2輯（横浜港ニ於ケル筏ノ現況）』	横浜港調査委員会	大正12（1923）年	横浜開港資料館
128 ◇「公有水面使用願ニ関スル件」	横浜水上警察署長地方警視渡邊時蔵	昭和2（1927）年3月1日	神奈川県立公文書館
129 ◇南幸町・北幸町付近の製材・造船業者	「大日本職業別明細図 神奈川県 神奈川区・鶴見区・保土ヶ谷区」（部分） 東京交通社	昭和6（1931）年	神奈川県立図書館

③市場

130 ◇中央卸売市場構内		昭和5（1930）年頃	当館（佐藤殿旧蔵写真）
131 ◇中央卸売市場寿分場			当館（佐藤殿旧蔵写真）
132 ○『横浜市中央卸売市場概要』	横浜市役所	昭和5（1930）年	当館
133 ○「横浜市中央卸売市場第一期新築工事」			当館
134 ○横浜市中央卸売市場青果株式会社の営業案内チラシ			当館

協賛御礼

横浜の歴史をともに未来へ —Sponsorship Partner—



崎陽軒

本展覧会は上記各社のご協賛を賜り運営しております。開催へのご支援に心より御礼申し上げます。